

英語科学習指導案

大阪府立摂津高等学校

1. 日時：平成 27 年 9 月 29 日(火) 第 6 時限 (14:15—15:05)
2. 対象：第 2 学年 8 組 41 名(男 21 名・女 20 名)
3. 教材：WORLD TREK English Communication II (桐原書店)
Lesson 4 What if...? Part 3 (P51)

4. 配分 本単元 8 時間を配分し、本時は第 7 時間目である。
1) Part 1 -1 オーラル導入、語彙練習、内容理解
2) Part 1 - 2 音読練習、文法演習、まとめ
3) Part 2 - 1 語彙練習、内容理解
4) Part 2 - 2 内容理解、音読練習、文法演習、まとめ
5) Part 2 - 3 まとめ Part 3 - 1 語彙練習
6) Part 3 - 2 内容理解、音読練習、まとめ
7) Part 3 -3 文法演習、まとめ ★ 本日の授業
8) 総まとめと文法

5. 単元の指導目標
1) 「もし〜だったら」という設定で、読解の中で仮定法の表現を理解できる。
2) 本単元の英文を流暢に正確に読むことができる。
3) 本単元におけるフレーズや語法を理解できる。
4) 本単元で学んだ表現で、自分の意見を述べることができる。

6. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
ペアワークにおいてお互いに協力しながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	学んだ表現を使い、身近な日常生活での自分の考えを適切に書き、伝えることができる。	語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を適切に理解できる。	仮定法の用法について理解している。

7. 本時の目標
1) If を使わない仮定表現”With〜” “Without 〜”という表現を用いた英文を理解できる。【理解】
2) “Without〜”という表現を用いて身の回りのことを表現することができる。【表現】

8. 本時の指導経過

段階	学習活動	4技能	指導上の留意点	評価の観点 (評価方法)
導入 2 分	today's mission 説明	リスニング (L)	本時で押さえるべきポイントを明確にする。 スムーズに内容理解へ進めるよう、様子を見る。	
展開 45 分	[仮定法のルール理解] 仮定法の動詞の形を確認する。 If 節に with…/without…を置き換える。		掲示物を使い、文法説明を簡潔に行う。 If 節を置き換えても、仮定法の文章であることを動詞の形で読み取るよう指導する。	
(20)	[Activity 1] 例文の聞き取り、空所補充をする。 教師の後に続いて読む。 例文を暗唱する。 ペアで確認をする。	L リーディング(R) スピーキング(S)	With… / Without…を用いた仮定法の例文で動詞の形を確認し、音読、暗唱を通し定着させる。音のリンキングに注意させる。 With / Without の後ろに入る語が名詞であることを確認する。	【理解】 (観察) (後日ペーパーテスト)
	[Practice] 空所補充をする。 答え合わせをする。	R S	With… / Without…を用いた仮定法のパターンを確認させる。	【理解】 (観察) (後日ペーパーテスト)
	[表現活動] “Without mobile phones”で英文を作る。 good points は摂津高校生へのアンケート調査結果を使ってインフォメーションギャップのペアワークを行う。 bad points は個々で動詞の形に気を付けながら英文を書く。	L R S W	パターン練習でスムーズに言えるよう練習させる。 ペアワークを積極的に行い、発話の機会を増やす。 知っている語彙を使い、進んで作文するよう導く。	【表現】 (観察) (後日ペーパーテスト)
まとめ 3 分	[表現の定着] 仮定法過去と仮定法過去完了の文章を作る。 If を使わない仮定の表現の別の例文を見て、仮定法のサインに注目する。	W	本時の表現の再確認をさせる。 自由に作文するのではなく、仮定法のサインとなる箇所のみクローズアップして書かせる。	【表現】 (観察) (後日ペーパーテスト)